

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立宮西小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0024

愛媛県新居浜市宮西町5番56号

E-mail mnie-ad@esnet.ed.jp

Website http://miyanishi-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 104名 女子 116名 合計 220名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域とつながり 未来へはばたく みやにし(人・文化・自然)」を活動テーマとして、ESDをふるさと愛と捉え、ESDの実践を通して、地域を愛し、やさしさとたくましさを兼ね備えた持続可能な社会づくりに貢献する人間(市民)の育成を目標とした。

具体的には、ふるさと学習を柱に、①ふるさとの歴史・文化に係わる学習、②人との出会いやつながりを大切に交流・体験に係わる活動、③豊かな感性と表現力の育成に係わる教育を行った。

① ふるさとの歴史・文化に係わる活動

【第4学年「わたしたちの口屋・別子銅山」】

(ねらい) ・ 別子銅山を近代化した人々の功績を調べ、地域の産業の発展につくした人々の工夫や努力・生き方を理解することを通して、現在の地域の発展に気付き、地域を大切にしようとする気持ちを育てる。

(活動の実際) ・ 広瀬歴史記念館や別子銅山記念館、マイントピア別子を見学して、別子銅山の歴史や先人の働きについて学んだ。

・ 口屋跡記念公民館で行われた「あかがねの松(クローン松)植樹式」に宮西小の代表として参加した。

② 人との出会いやつながりを大切にした交流・体験に係わる活動

【第6学年「絆生まれ 宮西」】

- (ねらい)
- ・ もちつきを通して三世代の交流を図るとともに、伝統行事を大切に文化を継承する心を養う。
 - ・ 独居老人宅、ケアセンターを訪問することで、高齢者へのいたわりや優しさの心を持ち、人と人との出会いやつながりを大切にする。
- (活動の実際)
- ・ 高齢者体験セットを装着して、高齢者が生活の中のどの場面で不便さを感じているのか考えた。
 - ・ 親世代、祖父母世代の方々にもちつきの手ほどきをいただきながら、もちつきを体験した。その後、各地域の民生委員さんと高齢者のお宅を訪問した。児童が書いた手紙を添えて、赤飯を笑顔とともに贈ることができた。

③ 豊かな感性と表現力の育成に係わる教育

【地域ボランティアと保護者による読み聞かせ】

- (ねらい)
- ・ 地域の方々と児童との親密な人間関係を築き、幅広く読書に親しむ態度を育てる。
- (活動の実際)
- ・ 金曜日(月2回程度)の朝の時間(8:00~8:10)、公民館が中心となって募集した地域ボランティアの方々と保護者が各教室を訪れ、読み聞かせをする。



① の写真(植樹式)



② の写真(ケアセンター訪問)



③ の写真(読み聞かせ)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESD活動を、宮西小学校の属する北中校区グランドデザインや宮西小学校の教育計画の重点目標に位置付け、全教職員共通理解のもと研究を進めている。本校はふるさと学習を行っており、様々な分野の内容に取り組んでいる。当初は単発の内容が多かったが、校内研修を通してねらいを明確にし、教科横断的な学習になるよう指導内容の改善に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内研修で本校のESD活動の方針を確認して、ESDカレンダーの検討・修正を行い、ESD活動を進めている。夏季休業中には、ESD先進校の取組について研修を行った。また、年度末に各学年ごとに、本年度のESD活動の実践レポートを作成して活動を振り返り、成果と課題を共有するようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ESD活動については、年度末にアンケートによる学校評価（内部）を行っている。本校のESDテーマ・目的の理解、ESD活動の計画的な実施については、肯定意見が多くよくできている評価となった。しかし、ESD活動を通して地域を理解し、愛する心が育っているかでは、前項の質問と比べると肯定意見が少し下がっていた。指導者の意識と取組の差が出てきているのかもしれない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

ESD活動成果は、学校ホームページを利用して活動の様子やねらいの情報発信を行っている。他にも学年だよりで、児童の感想などより詳しい活動内容を掲載している。また、5年生は防災まちあるきで学んだことを防災マップにまとめ発表し、地域の方に啓発活動を行っている。このことを通して、多くの方に学校の取組を理解してもらい、ESD活動に積極的に協力してもらえるようになった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

本校のESD活動は、ふるさと学習を行っている。「昔の遊び体験」「口屋音頭の伝承」「まちたんけん」「七草粥体験」「三世代交流福祉もちつき大会」などの多くの取組を公民館と協働で行っている。他にも「防災宮西レンジャー」では、新居浜消防署や市役所、「絆生まれ宮西」では、社会福祉協議会と連携している。各団体と交流を進めていく中で深い学びを目指している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流はできていない。今後別子銅山に関する内容では高校との交流も有効だと思われるので、交流を推進していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

- 地域の方々に教えてもらったり、いっしょに活動したりすることによって、児童の活動意欲が高まり、学習を深めることができた。
- ふるさと「宮西」を実際に歩いていいところを知り、歴史や文化を調べる活動を通して、児童の郷土を大切に思う気持ちが高まってきた。
- ESD活動を通して、地域の方々とふれあう機会を多くもつことができた。毎年教員の移動で入れ替わりが多いが、早く地域を知ることができ、連携を深めることに役立っている。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

テーマ

地域とつながり 未来へはばたく みやにし
(人・文化・自然)

活動内容

- 1 ふるさとの歴史・文化に係わる活動
 - ・ 郷土芸能(口屋音頭)の伝承(全校児童)
 - ・ まち探検(2年生)・ふるさと歴史探検(3・4年生)
 - ・ 昔の遊び体験(1年生)
 - ・ 防災学習(5年生)
- 2 人との出会いやつながりを大切にした交流・体験に係わる活動
 - 体験活動を通じた地域の方々との係わり
 - ・ 米づくり体験(5年生) ・ 七草粥体験(4年生)
 - ・ 三世代交流福祉もちつき大会(6年生)
 - ・ 高齢者の方との交流(6年生)
 - ・ 愛花人活動(3年生)・一人一鉢運動(全校児童)
 - 縦割り班活動の充実
 - ・ 縦割り班遊び・オリエンテーリング集会等
 - 中学校との連携強化
 - ・ 北中校区あいさつ運動
 - ・ 小学校児童会と中学校生徒会によるエコキャップ回収運動の推進
- 3 豊かな感性と表現力の育成に係わる教育
 - 読書活動の充実
 - ・ 学校ボランティア(保護者)による読み聞かせの実施
 - ・ 学校図書館(ESDコーナー)の整備、充実
 - 言語活動の充実
 - ・ 思いを語り合う場(ペア学習→グループ→全体へ)づくり
 - ・ 学級活動におけるソーシャルスキルトレーニングの実践